

ホワイエ *Foyer* イエ

New Union of Architects & Engineers

Tokyo 634

2025. 2



2025年1月1日（毎月発行）定価200円 通巻633号第55巻第2号発行/新建築家技術者集団東京支部
発行人/杉山昇 〒162-0801 東京都新宿区山吹町361番地 誠志堂ビル3F tel.03-3260-9810 fax.03-3260-9810
ホームページ <https://tokyo.nu-ae.com/> E-mail shinken-tokyo@group.email.ne.jp

ホワイエ 634 目次

03	阪神・淡路大震災 30 年	山下千佳
04	沖縄平和学習ツアーに参加して	小出裕久
06	住民の暮らしと隣り合わせの軍事化 —沖縄平和学習ツアーに参加して	高田桂子
08	新入会員 自己紹介	笹原和樹
09	中野プロードウェイ見学会の案内	石原重治
10	第 51 回「地球温暖化について考える」	渡辺政利
12	鋸屋根に魅せられて 広島県尾道市	吉田敬子
14	アジアニュース No.25	T N

今月の表紙 提供：小出裕久

1981 年竣工の名護市庁舎 市民に開かれた空間構成と沖縄の気候風土を生かした地域特有の穴あきブロックで表現された外観 建築学会賞を受賞した沖縄の名建築である。築 43 年を迎え老朽化と機能面で支障をきたしているとして、建て替えの計画が出ているようだ。
自然と融合したこれほどの名建築 何らかのかたちで残して欲しい。

Event Information

◎は新建主催行事 ◆は会員及び交流団体の行事

東京支部

住所：新宿区山吹町 361 番地 誠志堂ビル 3F

- ◎02/01 土 新建事務所 新規オープン
- ◎02/04 火 14:30 会計監査
- ◎02/16 日 13:30 東京支部総会

@新建事務所
@新建事務所 ○○○

★支部総会ふるって
ご参加ください★

全国

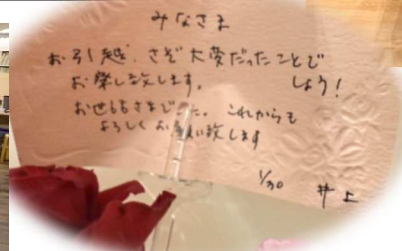
- ◎04/19 土 全国幹事会

会員及び交流団体 詳細は () に記載された会員へお問い合わせください。

- ◆02/01 土 13:30 マンション関係法の改正、マンション管理・整備のあり方 @台東一丁目区民館
- ◆02/27 木 19:00 機器も葉も使わない清水の町「郡上八幡」(金田) @市ヶ谷 DNP プラザ
- ◆03/08 土 13:30 シンポジウム「東京の居住問題—今とこれから」 @新宿区・牛込筆筈地域センター
- ◆03/11 火 18:30 (仮) 原発の危険性 講師：乾康代(柳澤・杉山) 会場未定

2025 年 2 月 1 日 新建全国と東京の事務所オープン

渋谷区代々木から 2006 年 6 月に新宿区水道町に移転して 18 年。39 m² (専用) から 110 m² (合計) になりました。かたちづくり研究所とシェア事務所です。共有のスペースが増え、事務所の経費も軽減になりました。会議や学習会、コミュニティスペースとしても活用してください。たくさんの本もあります。



井上文さんから
頂きました！



各地でのイベントや行事情報、ホワイエの原稿も随時募集しています。

下記アドレスまで原稿をお寄せください！ foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp

1995 年 1 月 17 日の早朝 5 時 46 分に震度 7 の激震が起き、発生から 30 年が経ちました。震災直後に 5500 人の方が亡くなられ、原因の 9 割が建物の倒壊によるものでした。その中の 1 人に私の友人の中川陽子さんのお父さん（当時 76 歳）が含まれています。中川さんと私は日本フィルの音楽家が被災された方が音楽で癒やされるようにとコンサートを開いた際に出会い、30 年近い歳月になりました。震災から 10 年の際には更地になった彼女の実家を訪ねました。『建築とまちづくり』2005 年 4 月 No.332 に中川さんか執筆した「震災から 10 年 父の死を想う」の最後に「私たちは歴史のランナー、どんなバトンを受け取り、次代にどうつなぐのか。私が父の命と引き換えに受け取ったバトンは『不戦の誓いと住宅の安全』」と書かれています。中川さんは現在、絵本の読み聞かせをしています。

能登半島地震から 1 年、東日本大震災からまもなく 14 年、地震だけでなく多くの災害に対して、教訓が生かされて「安心・安全な住宅とまち」を次の世代につないでいるのか、天国に一番近いとされる諏訪山ビーナスブリッジでの追悼集会から見えるビルの灯りに複雑な思いを感じました。



手にしたい
くずれぬ平和
その上に
安全安心
防災の街
中川陽子



16 日 「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」東遊園地 中央区東遊園地（神戸市役所南側）
（17：00 1 回目希望の灯り分灯 紙灯籠に点灯）



16 日～17 日 大阪支部の山口達也さん、東京支部の竹山清明さん（兵庫在住）・千代崎一夫さん・山下で震災から 30 年の神戸を訪ねました。当時、神戸協同病院の総師長だった山根香代子さんからのお話や災対連のメモリアル集会については、また報告したいと思います。

沖縄平和学習ツアーに参加して

小出 裕久

2024年10月末「基地のない平和な沖縄をめざす会」の主催する沖縄平和学習ツアーに参加した。

台湾有事を口実に自衛隊基地にミサイル配備がされた石垣島の現状を見てこようと意気込んで行ったが、バス会社から基地周辺に近づくことが固く禁じられており、仕方なく遠くの展望台からしか覗くことしかできなかった。キーン・ソード25（日米共同統合演習）の最中どこからか圧力がかったのだろう。



住民の住む地域のすぐそばに地対艦、地対空ミサイルが配備され弾薬庫まで建設された。他国からの攻撃対象になることは間違いないだろう。夜は地元で捕れた魚と泡盛でツアー初日を終えた。

翌日、飛行機から真っ青な海と緑の森を見ながらこの島の行く末を不安に思いつつ那覇に向かう。

午後はフリーなので那覇の友人と空港で待ち合わせ、昼食は地元のうまい“沖縄そば”を食べ、南部を案内してもらった。まずは、沖縄の闘いの原点ともいえる「魂魄の塔」へ。散乱した3万5千余柱の遺骨を住民によって納められた慰霊塔だ。多くが摩文仁の沖縄戦没者墓苑に移されているが今でもこの塔を訪れる方は多い。ひめゆり平和祈念資料館では、沖縄戦で命を落とした、ひめゆりの学徒の当時の写真や映像や、生き残った方の証言を聞き、胸が詰まりました。その後、摩文仁の丘の平和祈念公園で毎年名前が増え続けている「平和の礎」「平和祈念資料館」を巡り南部戦績を後にした。夜はツアー参加者と地元の平和団体のメンバーやオール沖縄の方々との交流会、沖縄の闘いの現状を聞いたり、歌や踊りで楽しい時を過ごした。



3日目は普天間基地を見渡せる嘉数高台公園へ。2017年米軍ヘリから部品が落ちた緑ヶ丘保育園、普天間第二小学校の保護者のお母さん達で結成された「コドソラ」の2人から説明を受けた。基地の街で生まれ育ち、基地があることが当たり前のことでいたが、落下物事故で恐怖と不安に



包まれ、平和運動に拘わるようになった。「コドソラ」とは、子供たちの空を守りたい！という思いから名付けたそうです。話を聞いている最中に爆音を響かせオスプレイが頭上を飛んで行った。「これが毎日ですよ〜」と！ その場に行かなければわからない恐怖を感じた。「私たちは、普通に静かなところで生活がしたいだけです。本土の方も一緒に声を上げて欲しい！」と訴えられました。

この日の宿泊地の名護で、築43年経つ「名護市庁舎」を見学しました。(表紙 写真)

候風土を生かし、穴あきブロックを使い沖縄らしい表現で建築学会賞を受賞したが、老朽化等で建て替えの計画がある。沖縄の名建築を庁舎機能にとどまらず何らかのかたちで使い続けて欲しいものだ。

市庁舎からほど近いところに国の重要文化財に指定された、赤瓦の小さな木造の建物「津嘉山酒造所」がある。戦禍を逃れ戦前の姿を残し、今でもそこで泡盛をつくっている。閉店間際に訪れたが内部を細部まで説明してもらい各種の泡盛を試飲させて頂いた。同じ年に仕込んだものでも甕によって味が違うので甕番号で販売している。こだわり抜いた沖縄泡盛「国華」を求める方は全国から訪れるそうです。(1本購入してきました)



最終日 朝から辺野古の座り込み！ テントでその日の担当責任者に挨拶し、ゲート前で各々プラカードを手に警備員が整列する前に座り込みを開始する。次々とダンプやトラックが道路に並び始める。9時前防衛局の人間が大勢出てきて「通行の障害になるので移動してください」とアナウンスの後、この日30名くらいの座り込み参加者は端から順次排除され、ゲート前が空いた途端縦列していたダンプが次々とゲートの中に入った。延べ150台くらいはいただろうか。止められなかった虚しさはあるが、我々が座り込んだことで新基地建設を少しでも遅らせることは出来たはずだ。テント前に戻りその日参加の他団体とトークや歌で交流し団結を確認した。



降り出した雨の中、集団自決が行われた読谷村のチビチリガマへ。この世の地獄を集めたような悲惨な歴史を聞き心が痛い。嘉手納基地を展望できる道の駅の屋上からは何機もの軍用機を目撃した。これほ



どの米軍基地がなぜ日本にあるのか？基地があるがための問題が山ほど起こるが日本は抗議すら出来ない。政府は沖縄の基地負担軽減を言うが、今回の学習ツアーでは軽減どころか石垣島はじめ南西諸島の島々のミサイル配備や辺野古新基地の強行工事は、ますます負担を押し付けているようにしか見えなかった。アメリカ言いなりの軍事費増強。思考停止の政府、司法を動かす術はもはや市民が腕を組み、声を上げにくい。沖縄の現状は日本全体に関わることで、本土の人も見て見ぬふりはそろそろやめないと、取り返しのつかないところまで来ているように思えた。

住民の暮らしと隣り合わせの軍事化

——沖縄平和学習ツアーに参加して

高田桂子（とも企画設計）

前述の小出裕久さんから誘ってもらった沖縄平和学習ツアーに参加し、3泊4日で沖縄に初めて行ってきました。

幸運なことに最初に訪れる地が石垣島。ここ数年南西諸島への自衛隊基地の拡大が問題になっており、情勢などの際に書いたりしていましたが実感がなく、一度この目で見たいと思っていました。

小学校や住宅地そばに弾薬庫が

石垣島は沖縄本島からさらに西にあり、羽田空港から3時間半の飛行時間でした。韓国・ソウルには2時間ほどだったことを考えると国内とは言え距離があります。10月末でしたが30度以上の気温、夜も蒸し暑くノースリーブでちょうどよかったです。

蒸し暑さがありますが、環礁に囲まれた海、そして於茂登岳（おもとだけ）のような山、赤茶けた畑にパイナップル畑など自然豊かな島。そしてゆとりある町並みを歩けば「ここに住んでもいいな」と思えるのが石垣島でした。

石垣空港から、20名のツアー参加者と現地から案内をお願いした藤井幸子さんを乗せ、貸切バスで於茂登岳方面に向かいました。藤井さんは関西出身。ダイバーとして石垣島を訪れ、その後移住した方です。現在は石垣島の平和と自然を守る市民連絡会の事務局長をされています。

もうすぐ目的地という時に、藤井さんが行き先変更のアナウンスをしました。自衛隊基地前に続く道には入らないとバス会社が決めたことを、運転手から伝えられたからです。これまでは陸上自衛隊石垣駐屯地の門前までは行けたのですが、今回はバス会社が忖度したのでしょうか、自衛隊からの圧力なのでしょうか、門前に行くことはできず、遠くから見るだけになりました。



正門に続く道に曲がる手前には、真栄里地区がありました。開拓の碑があり、昔の人たちが苦勞してこの地を開拓してきたことがわかります。また少し行くと現役の大本小学校が見えてきました。あとで自衛隊基地からの距離を見ると1kmあまりでした。基地内には弾薬庫が4箇所あり、有時には標的になる場所です。こんな近い距離に開拓の村と小学校があることに驚き、市民感情や常識とは別のところに自衛隊の「常識」があることを確認しました。



また、離島にとって水の確保は生死を分けるものです。於茂登岳周辺はダムが多数あり、石垣島の水瓶になっている地域です。こうした場所に基地が作られ、自然環境を大きく破壊しています。水系が心配になると同時に汚染が危惧されます。

軍事化と石垣島住民の不安

案内をしてくれた藤井さんから聞いた石垣島など南西諸島の軍事化について紹介します。

「この5年間で南西地域での軍備拡大化」

—2016年に与那国に監視部隊配備、2019年奄美、宮古にミサイル部隊が配備されました。2023年3月16日に開設された石垣駐屯地には、警備部隊役340人、地对艦ミサイル部隊約60人、中距離地对空ミサイル部隊約70人など合わせて約570人。施設は、開設時で47haです。市街地に宿舎3か所150戸があります。—

「今市民の中にある大きな不安は住民避難です」

—武力攻撃予測事態と判断されれば、石垣住民は全員大分県、福岡県、山口県へ避難するというのです。市民は「リュックサック一つで生活、財産を捨てて避難なんかできない」「生活の保障は？」
「疎開とどこが違うのか」との意見が続出—

石垣市の人口は約5万人です。九州の各都市にどうやって住民避難をするのでしょうか。想像を絶します。ホテル近くの石垣港は特定利用港湾に指定され、軍艦などが入港しています。港湾も有事には狙われるのは当然です

そして、戦争中、石垣では地上戦はありませんでしたが、日本軍が住民を山に強制疎開させたことで多くの方がマラリアで亡くなったという歴史があり、記憶に残す碑が各地にあります。

さらに、島の西側にも訓練場などが広がっていく計画であり、農林高校の演習林や牧草地に隣接しているようで、こうした場所での空砲訓練はあってはならないことでしょう。

平和への想いを共有する場

この日の最後に石垣市立市民会館や図書館と隣接する新栄公園を訪れました。平和の鐘、九条の碑、戦争当時の銃弾跡が残る气象台外壁など、平和への想いを強くする公園になっています。隣には広い芝生が広がり、そこでは石垣島の平和集会などが開かれるそうです。

のんびりした雰囲気が広がる石垣市中心部ですが、港にも海上自衛隊の護衛艦が寄港します。台湾や中国に近く緊張した思いも抱きます。

石垣を中心にした地図が公園内にありました。東京より九州より台湾や中国に近い石垣。緊張より外交努力による友好がこの島には大事だと強く感じた場所でした。





★新入会員★ 自己紹介

この度、新規加入させて頂きました笹原和樹（43歳）と申します。どうぞよろしくお願い致します。

幼少期に実家の建て替えを経験し、当時ひととき存在感があり、いわゆる「カッコいい！」と記憶に残った女性建築士にあこがれて、建築士を目指しました。野球にあけくれながら建築学科を卒業後、23歳で地元北海道から上京し、約10年間、設計事務所に勤めました。が、入社して間もなく会社の経営が傾き、組合が中心となって新会社を設立しまして、現在は当時お世話になった労働組合の上部団体、建交労東京都本部に書記局として勤めています。

振り返りますと、設計の仕事は、習得すべき技術が高度な上に、やらなければならないことが沢山！質と量の両方が求められ、また、柔軟性や効率性など様々な能力が求められる仕事で、本当に大変だったという感想です。毎日深夜に及ぶ残業でクタクタ、唯一の休日の日曜日は一級建築士の試験勉強で学校に通い、体力的にも精神的にも、ギリギリのところ、自分にとっては大変ハードルが高い日常でした。それでも、業務をこなしながら1級建築士を習得している同期や先輩がおりましたから、要するに好きかどうか、熱中出来るかどうか、体力があるか、大きな要素ということを感じます。

それにしても、一人が抱える物件数が多すぎると、長時間労働で疲れますよね。今は、肌で感じて来た設計事務所での経験と、組合での争議の経験、この2つの経験を活かし、働く方を支える立場で、建築士の皆さんが持つ、様々な能力や役割を、広く一般の方に知って頂きたい、労働組合の立場から発信したいと思っております。まずもって、設計事務所で働く建築士のみ皆さんの業務報酬の適正な価格の実現、もっともらっていいと素直に思いますから、1物件あたりの設計料の引き上げ、長時間労働の是正、実現したいです。組合内で、建築士のイメージについてアンケートを行ったことがありますが「ハウスメーカーに指示を出す仕事」「年収は1000万以上」など、実態とは少し乖離した回答があり、参考になりました。環境、景観、街並みなど、様々な観点からアプローチ出来る建築士のみさんの技術を、もっともっと広く知って頂き、建築士の皆さんが業界の先頭に立てるような建てて壊すだけではない建設業界を、目指したいです。そういう意味で、新建の皆さんの取り組みは、既に建築士の仕事の「見える化」を実践されていますね。地域社会が本当に必要としている建物に豊富な予算が付けられるべきですし、様々な福祉制度や施設基準も、利用者にとっての豊かな空間、幸せな日常をおくるための制度設計がされるべきだと思います。是非、国土そのものの在り方を一緒に考えていきたいと思っております。

建交労東京都本部 笹原 和樹



中野ブロードウェイ見学会の案内

20250201

見学会の主旨

中野駅周辺の中野サンプラザ建替など、現在の駅前再開発のあり方を考えるため、60年前の中野ブロードウェイ建設（再開発）の実態と現状をさぐる「建築まち歩き」、現地を歩き回って、今日の再開発事業と比べてみたいと思います。

おりしも、中野サンプラザと区役所跡地の再開発は、大幅な計画変更になる見通しですが…
○開催時期は、東京支部総会后とし、日時は、参加予定者の要望を聞いて決めます。

○10人くらいでGUIDE BOOK（中野ブロードウェイ商店街振興組合発行）及び自前で作成した資料を見ながら、館内と周辺を見学する。見学会終了後は、反省会・意見交換を行いたい。

*問合せ先：石原重治（東京問題研究会） メール：symmmstone@nifty.com

（中野ブロードウェイの概要）

1966（S41）年10月開業、当時の画期的な商業施設と集合住宅との複合ビル。

JR中野駅北口から、サンモール（アーケード商店街）とビル1階の「広い通路＝ブロードウェイ」でつながり、早稲田通りまで歩ける。

建物は、幅45m、長さ140m、高さ31m、地下3階、地上10階建て。

地下1～4階はショッピングモール、5階～10階は「東洋一のビルディング」のフレーズとともに売り出された高級マンション。

沢田研二、青島幸雄も住んでいた。屋上には庭園・プールなどもある。

店舗400軒分、住宅251戸、（株）間組施工。



昭和41年10月完成当初の中野ブロードウェイ（なかの写真資料館HPより）

中野ブロードウェイ全景（手前は地下掘削中の中野サンプラザ）



1968年版住宅地図

第51回 「地球温暖化について考える」

渡辺政利

ドナルド・トランプ米大統領に就任

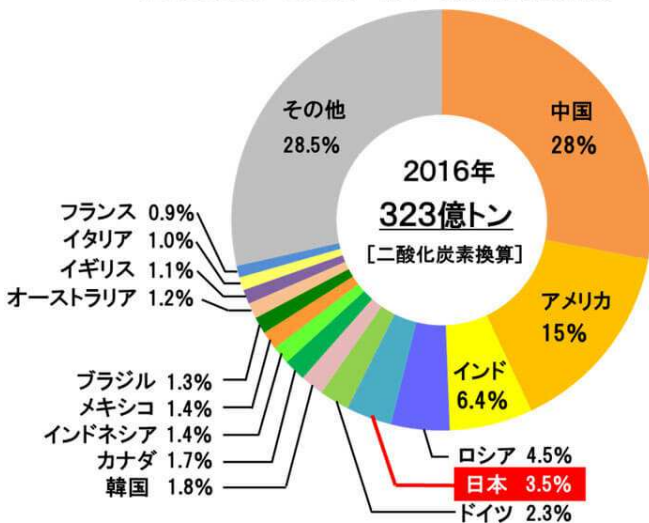
「米国第一主義」を掲げるドナルド・トランプが、1月20日第47代アメリカ大統領に就任しました。就任直後、40本を超える大統領令や覚え書きなどに署名してそれまでのバイデン時代の政治のあり方からの変化を大々的に印象づけるパフォーマンスを演じました。しかしこれらの中には現在人類が直面する歴史的課題としての気候変動対策に関する国際的枠組み「パリ協定」から第1次政権と同じく離脱が含まれ、トランプの従来からの主張で予想されたこととはいえ

たいして「過剰な規制を撤廃する」として、現在でも高水準利用にあって地球環境汚染防止に反するアメリカの石油や天然ガスを「掘って、掘って、掘りまくれ」と大增産し、自然エネルギー利用へ逆戻りを促すもので、地球環境汚染防止の取り組みへの反動の号令です。データは少し古いが、アメリカは温暖化ガス排出量が中国に次いで世界第2位で世界排出量の15%を占めています。(2016年・図参照) トランプの化石燃料増産宣言は地球温暖化防止への配慮は一切なく、「米国第一主義」は地球温暖化防止運動への挑戦そのものとなっています。「パリ協定」からの脱退が有効となるのは通告してから一年後となるようで、この間に脱退を思いとどまらせるための国際的働きかけが始まるとの報道もあります。目先の利益のために地球温暖化を進める政策を強めればやがてその結果が自分たちにも大きな不幸を招くことに思い至らないのでしょうか。

また、トランプの大統領令にはこれ以外にも、人間の健康を基本的人権として捉えその達成を目的とする世界保健機構(WHO)(本部・ジュネーブ)からの脱退など国際機関の維持に重大な負担を生じさせる背信行為も含まれています。中国で拡大したパンデミックへのWHOの対応を、「中国寄り」と批難し、これを口実に脱退を宣言したものです。地球温暖化問題では昨年のCOP29で、二酸化炭素の高排出国が低排出の後進国にたいして温暖化対策や産業構造改善のためとして大きな負担金の支払いを決めましたが、WHOでも先進国の高負担傾向は

▼ 世界の二酸化炭素排出量

[出典: JCCCA(元データはEDMC/エネルギー・経済統計要覧2019年版)]



国際的に大きな衝撃を与えています。

この気候変動に関する国際的取り組み「パリ協定」に対する挑戦は、アメリカの利用エネルギーの主力のひとつを化石燃料に戻すとするもので、そのために「国家エネルギー非常事態」を宣言しました。その内容はバイデン政権時代の4年間、曲がりなりにも化石燃料からの離脱を目指してきた政策に

あります。アメリカはWHO事務経費の17%のほか運営資金の多くを日本や中国と共に負担しています。「アメリカ第一主義」のトランプはこうした負担を拒否したのと思われま。身勝手この上ない無責任な行動と言えるのではないのでしょうか。

2年連続最高温更新

2024年の日本の平均気温が、1898年統計開始以来最も高かったのではないかと予想されていることを前々回（第49回）書きました。

年が明けた2025年1月6日、気象庁が2024年の日本は上記統計開始以来最も高かったことを確定値として発表しました。「しんぶん赤旗」1月8日号はこれを詳細に報告しています。これらの記録は都市化の影響が少ない全国15の都市（これらの都市名はこのシリーズ第48回に記入）での観測値による計算で、2020年までの30年間を平年とする数値から1.48°C高かったとしています。前年の23年は平年より1.29°C高く2年連続の最高記録更新とされます。この高温傾向は19年～24年の6年間で1位から6位を占め近年の高温化が顕著である事も示されています。

地球温暖化を1.5°C以下に留めようとする国際的努力も局部的な世界では次第に破られていくことになるのかも知れません。地方別の平均気温では関東・甲信1.7°C、東海1.6°C、近畿1.4°C、中国1.5°C、四国・九州北部1.6°C、九州南部・奄美1.4°C、沖縄1.0°Cでいずれも1946年の統計開始以来最高を記録。東北1.8°Cは23年と並んで過去最高、北海道1.3°C、北陸1.4°Cという結果となっています。

年間降水量は東日本平年の118%、西日本

116%、沖縄・奄美126%と例年より多く、北日本（北海道・東北）は98%で平年並み。日照時間について平年比をあげると北日本は109%とかなり多く、東日本105%、西日本106%、沖縄・奄美103%で、平年を少し上回ったとされます。

地球規模の温暖化が進み、それに伴って世界各地の気象変化が起きてきているようですが、気象庁によると24年の日本でも夏（6～8月）は過去最高タイ、秋（9～11月）は過去最高気温、月別では4、7、10月が過去最高温となったとされます。これは地球温暖化を背景にしながら、偏西風が北寄りに流れて日本付近では暖かい空気に覆われやすかったことがあるとも言われています。

1.5°C突破か

世界の気温に関する情報をネットで拾っていて驚きの情報を見つけました。

2025年1月11日の「ネットウエザーニュース」によると、世界気象機関（WMO）が気象庁や欧州中期予報センター（ECMWF）、アメリカ海洋大気局（NOAA）など6つのデータセットから総合分析を行った結果、2024年の平均地球表面温度は平年（1850～1900年）に比べて1.55°C高かったことが分かったと言うものです。（不確実性の幅±0.13°C）この記録的高温は最近10年連続して進行する高温化傾向の中にあるもので地球温暖化によって引き起こされており、中でも昨年の気温上昇は海の温度上昇が寄与していると言う見方が強まっています。WMOは今年3月に温室効果ガス、地表温度、海洋熱など主要な環境指標の詳細を公表するようで、緊張感が漂います。

（つづく）

鋸屋根に魅せられて

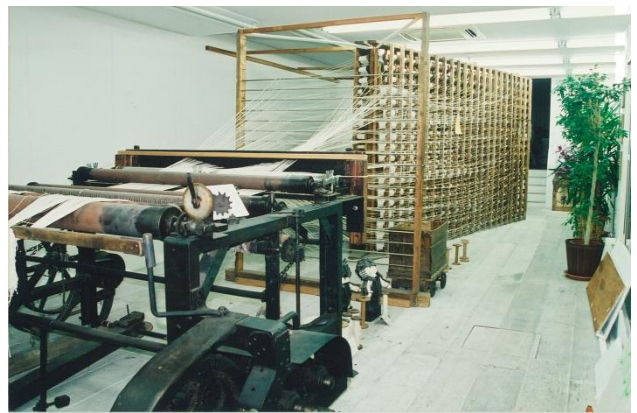
広島県尾道市 写真家 吉田敬子

山陽本線「尾道駅」から徒歩約1分「尾道本通商店街」があります。昭和時代が漂う懐かしい風景の一角にある「工房尾道帆布」に立ち寄りました。店内には帆布資料室があり、帆布工場で使用する大きな整経機や、シャトル織機が展示してあり驚きました。訪ねると店長さんは興味深い話をしてくれました。帆布は帆船の帆に使われた厚手の綿織物です。丈夫で通気性がよくテント地や画布などにも広く用いられてきましたが、近年の化学繊維の普及で帆布の需要は減少しています。かつては百を超えた帆布工場は、全国で10か所を数えるだけです。その残された数少ない帆布工場のひとつが向島にあります。当店の帆布は全て、その工場で製織した帆布です。展示してある織機なども工場から頂いた機械です。私たちはこの帆布を用いて服飾・日用品を創作しています。かつて海に生きた人々の芯の強さをよみがえらせ、海に育てられた町、尾道の伝統を再生する試みでもあります。感動している私に「尾道帆布工場へ行かれますか？」と簡単な地図と電話番号を頂きました。

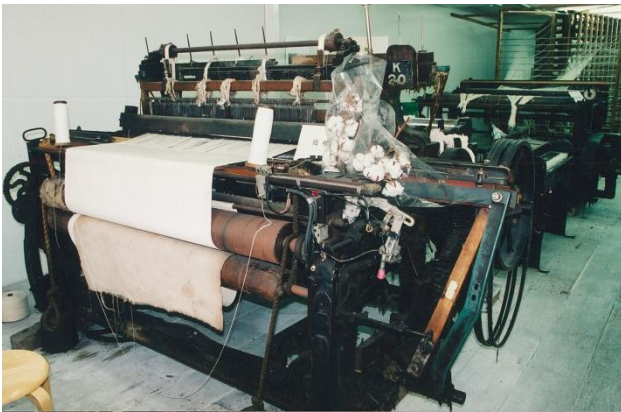
尾道本通商店街（2008年撮影）



整形機・工房尾道帆布店内に展示



シャトル織機・工房尾道帆布店内に展示



木管、糸を巻き終えたロール、シャフト等



向島へは尾道からフェリーで約5分です。工房の店長さんから工場はノコギリ屋根だと思えます。と情報を頂いた地図を片手に歩いて行くと、こちらを向いてお辞儀をしている男性がいました。「吉田さんですか？工房から工場内部を撮影したい人が行きますのでよろしくお願いいたします。」と連絡ありがとうございました。」と出迎えてくれた頭上には「尾道帆布株式会社」と大きな看板がありました。「社長は留守ですがどうぞ。」と案内され一歩足を踏み入れると、トラス構造のノコギリ屋根で十数台の織機が稼働中でした「いい工場ですね。鋸屋根は産業遺産の証です。」と感動している私に「工場は祖父が昭和9年（1934）に創業して以来一貫して同じ製法で生産をつづけています。と作業工程を説明され織機は大正末期から昭和初期に製造されたものと聞いています。工房に展示してある織機などは、ここから持っていかれました。熱心な人たちです。工場の鋸屋根は3連2連の継ぎたしで一番新しい工場は鋸屋根ではありません。」夢中で撮影していると、「鋸屋根工場を誉めてくれたのは、工房の代表と吉田さんの2人です。」と息子さんは微笑みました。2024年連絡すると、「向島の帆布工場は1軒のみとなりました。今でも創業以来の製法でやっています。」と頼もしい言葉を頂戴しました。

【尾道帆布工場への路地】



【尾道帆布の鋸屋根工場】



【紡績工程：原綿から糸を作る】



【シャトル織機で帆布生地を織り上げる】



ベトナムの食材の紹介

筆者は、2年前に、ベトナムを訪れました。その時ハノイで、エッグ珈琲を試飲しました。もちろん定番のフォーガー（鶏肉）やフォーボー（牛肉）、バインミー（サンドウィッチ）などもいただきましたが、なんとといっても郷土料理のレストランで、管弦楽付きの夕飯は、また格別なものがありました。今回は、そうしたグルメはどうなっているのかのご紹介です。

以下は、最近の様子を VIETJO の記者が紹介しています。(TN)

社会 ネギミルクティーに石焼きソーセージ…24年の飲食トレンド10選 2025/01/04 10:28 JST 配信

2024年もベトナムでは新たなフードやドリンクが次々と登場し、若者を中心とした食道楽の心をつかんだ。味だけでなく、見た目のユニークさもポイントだ。

地元紙「トゥオイチェー(Tuoi Tre)」は、2024年にベトナムの若者の間でトレンドになった10種類のフードとドリンクを紹介した。

ヌオックズアケムマツチャ(Nuoc dua kem matcha): 抹茶クリームココナッツジュース



当初はタイで流行し、間もなくベトナムの若者の間でもトレンドとなった。抹茶ラテの濃厚な味わいとは異なり、抹茶のほんのりとした苦さとココナッツジュースのさっぱりとした甘さが溶け合っている。見た目も、抹茶のグリーンとココナッツジュースの透明感が美しいコントラストを生み出している。(左写真)

チャー
スア
ハイン



ラー(Tra sua hanh la): ネギミルクティー

伝統的なミルクティーの濃厚な甘さと、ネギの独特の辛味が組み合わせられている。中国の四川省成都市発祥で、抹茶ミルクとホイップクリームの上に刻みネギがトッピングされている。(右写真)



チャーメームオイオット(Tra me muoi ot): チリソルトタマリンドティー

タマリンドのまろやかな酸味、チリソルトの辛み、紅茶の甘みが調和している。カクテルのソルティ・ドッグのように、カップの縁にチリソルトがついたスノースタイルで提供される。(左写真)



タンフル(Tanghulu): 韓国風フルーツ飴

中国の菓子「糖葫蘆」を韓国風アレンジしたものが韓国でブ



ームになり、2024 年にベトナムにも入ってきた。(前頁右写真)

クレーププディングマツチャ(Crepe pudding matcha): 抹茶プリンクレープ



もちもちのクレープ生地でなめらかな抹茶プリンと濃厚な生クリームを巻き、上から抹茶パウダーをふりかける。抹茶味のほかに、甘さを抑えたビターチョコレートバージョンもある。(前頁上写真)

バインタントーオン(Banh than to ong): ハニカム練炭ケーキ

竹炭パウダーを加えたスポンジケーキまたはチョコレートとオレオを混ぜたブラウニーをベースに、練炭の形を模している。ケーキの中には、とろとろのチーズソースや甘じょっぱい塩漬け卵ソースが入っている。(左写真)

ヌオックフエ(Nuoc Hue): フエのブラウンドットジェリー

2024 年の夏ごろに北中部地方トアティエン・フエ省の特産である「ヌオックフエ」が突如として広まった。汽水域に生息する軟体動物で、クラゲに似ているが小さく、青い色をしている。コリコリとした歯ごたえがあり、エビのペーストや野菜と組み合わせて食べる。(右写真)



ラップスオンヌオンダー(Lap xuong nuong da): 石焼きソーセージ

中国発祥で、熱々の小石の上で

焼く。チリソースやケチャップ、チーズなどをつけて食べることもある。(左写真)



バインフォーマイルスアヌオン(Banh pho mai sua nuong): 焼きチーズ

中国の江西省発祥で、長細いチーズスティックを鉄板で焼き、コンデンスミルクをかける。チョコレートや抹茶、チーズ、ヨーグルトなどのフレーバーパウダーをかけることもある。(右写真)



タウフーホアアインダオ(Tau hu hoa anh dao): 桜豆腐

中国発祥で、淡いピンク色の豆腐の表面に濃厚なチーズクリームがかかっている。パールのようなトッピングはシログワイから作られている。(左写真)

住む人・使う人の立場で、
住まいづくり、まちづくりを
すすめています。



共同建替え「アリアシア鳩ヶ谷」

〒124-0001
東京都葛飾区小菅4-22-15
TEL : 03-3601-6841
FAX : 03-3601-6944
E-mail : zo-3@jade.dti.ne.jp
http://www.zo-3.info

株式会社 **象地域設計**

新建築家技術者集団 憲章

建築とまちづくりにたずさわる私たちは、国土を荒廃から守り、かつ環境破壊を許さず、人びとのねがう豊かな生活環境と高い文化を創造する目的をもつ。

私たちはこのことを認識し、行動するための目標をかかげ、ここに憲章を定める。

- 1 建築とまちづくりを、社会とのつながりの中でとらえよう。
- 2 地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう。
- 3 建築とまちづくりの優れた伝統を継承し、理論や技術の発展と創造につとめよう。
- 4 人びとに支持される建築とまちづくりの活動をすすめ、専門性を確立しよう。
- 5 建築とまちづくりに関連する国内外の広い分野の人びととの交流をはかり、連帯を強めよう。
- 6 建築とまちづくり、生活と文化、自由のために平和を守ろう。

住み続けられる



株式会社
まちづくり研究所

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 第二伊藤ビル 503
TEL : 03-5423-3470 FAX : 03-5423-3479

住む人に、環境に、優しく・・・
さらに美しさをお届けする

ルナファーター

五感で味わう心地よい空間・・・

ルナファーターは、環境保護先進国「ドイツ」で広く普及している塗装下地壁紙。通気性や透湿に優れ、結露やカビの発生を抑えます。紙のパターンと塗装色の組み合わせで、お部屋の演出は思いのまま。模様替えやメンテナンスもそのまま塗り重ねるだけでOK。(10回程度可能) 廃材もほとんど出ないので、環境に優しい材料です。



(輸入元)日本ルナファーター(株)
東京都港区南青山2-9-3
青山JPビル 2階
TEL 03-5785-2750

施工店(有)ルナファーター・テクノ
東京都練馬区関町東1-28-9
NPRビル内
TEL 03-6904-7666
TEL 03-6904-7888

※ルナファーター・テクノの住所
が変わりました。

新協建設工業株式会社

平和であればこそ建築はよろこび

本社 台東区台東2-25-10
東東京支店 江戸川区篠崎町3-1-3
台東支店 (台東)台東区台東2-25-10
西東京支店 (多摩)日野市神明4-22-13
大阪支店 堺市寺地町東4-2-11
石川支店 金沢市法光寺町207-4
広島支店 広島市安佐南区相田6-1-7

TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450
TEL03-3678-7471 FAX03-3678-7472
TEL03-3836-2017 FAX03-3835-7380
TEL042-584-7508 FAX042-584-7581
TEL072-229-2873 FAX072-229-2874
TEL076-257-2535 FAX076-257-2570
TEL082-872-1727 FAX082-872-1728